



公明党千葉市議会議員団 議会報 美浜区版

小さな声を形に！伊藤こうへい通信

令和4年度第4回定例会

～代表質問より一部紹介～

令和4年11月29日から12月16日にかけて、第4回千葉市議会定例会が開催されました。

代表質問各論の担当項目についてと、美浜区地域の課題対応についてご報告します。

幕張新都心まちづくり将来構想について

幕張新都心が開業してから30年がたち、当初のコンセプトである「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都心として発展を遂げてきました。

現在、幕張豊砂駅の建設や若葉住宅地区の開発など、人々の利便性や回遊性を図りつつ、その効果が全体に波及することに期待し今後の取り組みを確認しました。

Q1 幕張新都心まちづくり将来構想では、これまでの新都心のコンセプトをどのように評価し、将来構想に反映したのか？

A1 住民、企業、来訪者など、日々23万人が活動する魅力のあるまちとして発展を遂げている一方で、まち開きから30年以上が経過し、環境の変化に的確に対応し、まちの価値や多様性をさらに向上させていく必要があると考えている。

Q2 幕張メッセ駐車場などの公益施設用地を有効活用し、新たな魅力と賑わいを創出することは、公益性の観点からも重要です。今後の展望も含めて見解は？

A2 公益施設用地を所有する千葉県については、将来構想の策定過程で意見交換を行い、県市間の協議を密に行い、土地利用の柔軟な運用を図ることで、拡大地区の更なる活性化やエリアの融合を促進し、賑わいを創出していけるよう、積極的なまちづくりに取り組んでいく。

Q3 幕張ベイタウンの一部の建物では、借地権の更新時期を迎え、“住”機能エリアをどのように将来につなげようとしているのか？

A3 入居開始から約30年が経過し、今後も老朽化が顕在化していくことが見込まれることから、住環境の魅力・価値の向上に向けた環境づくりを進めていく。具体的には、住宅の段階的な更新や良好な景観を将来にわたって維持させる仕組みづくりや、地域の暮らしを支える移動手段の導入、保育・教育環境の充実など、住民、事業者、県等、相互に連携し取り組んでいく。



幕張の浜上空



幕張ベイタウン



幕張新都心

「物価の高騰対策を！」酪農支援について

ウクライナ情勢に伴い、穀物価格の上昇によって配合飼料価格も値上がり、畜産経営を圧迫していると聞いております。

こうした状況を受けて、国では飼料価格高騰緊急対策事業を創設し、県においても畜産飼料価格高騰緊急対策事業として、畜産農家への支援をおこなっておりますが、緊急支援策は持続性に乏しく、一過性の対応となりやすいため、経営が持ち直すまでのあいだ対策が必要です。

Q 酪農、畜産は、飼料のほとんどを輸入しており、本市の酪農家の9割が経営難に苦しんでいると聞いております。経営難に苦しむ畜産農家のためにも、継続性を担保できるような中長期的な取り組みが必要です。見解をもとめます。

A 国、県の支援制度と合わせて、現在、補正予算に計上している本市独自の緊急対策事業について、個別にご案内をさせていただき活用いただけるよう支援していく。また、農政センターを中心に積極的に各農家に足を運び丁寧に耳を傾け、寄り添った支援を行っていく。

中長期的には、耕畜連携に取り組み、輸入原料に頼らず自給飼料を確保することで、生産コストの削減につながることから、持続的な経営を確保するためにも継続的な経営を支援していく。



農政センター



市内酪農農家

